

みやけの風

第 197 号

平成16年(2004年)11月13日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

平野村長が中越地震で全村避難になった山古志村の皆さんを励ましに行かれたニュースを見ました。自分たちの経験がだぶり、胸を痛めていた三宅村民も多かったらうと思います。災害で住民がまるごと故郷を離れなければならないことがどれほど大変なことか・・・。

さて、ふれあい集会の個別配車依頼も30人を超えました。今回、初めて利用する方もおられます。「最後だから・・・」との思いでしょうか。

みんなの声

新潟県小千谷市に行ってきました

先週の5日(金)～7日(日)まで、東京災害ボランティアネットワーク(三宅島災害東京ボランティア支援センター構成団体)が行なった、新潟県中越地震支援第2陣にボランティアとして参加してきました。参加者は58名で、上原事務局長をはじめ、ふれあい集会に支援に来てくださる方々、三宅島からは3名が参加しました。参加者は3班に別れて炊き出しをし、温かい食事を気持ちとして届けました。

私が行った小千谷市山寺地区は、班が12班に別れていて、自治会長、班長を中心に、避難所に避難せず、住民同士支え合っていて、「三宅に似ているな」と、思いました。

ガスはまだ復旧せず、家も瓦が落ちていて要注意や、危険の張り紙も目立ちました。まだ、地震が怖いので大きなガレージに15人ぐらい集まって、生活している班もありました。

住民の方に「三宅島の住民なんですよ。避難中、新潟のみなさんに、お米や、味噌をいただいたんです。ありがとうございました」と声をかけると、緊張した顔が少しゆるみ、お互い災害はちがうけれど、大変だった事、辛かった事、悲しい気持ちを話し、気づくと一緒に涙を流していました。住民の方々は余震が続く恐怖と先の目途が立たないイライラで、私たちも経験した疲れがすごくたまっているようでした。

私にはなにもできないけど、なんだか気持ち動きまわります。

今回、東災ボと一緒に動いてみて、すばやい行動力、判断力、組織力をまじかで見ることが出来、三宅島の噴火の時もこんな風に動いていたんだとわかり、嬉しく思いました。

現地での対応も被災された皆さんに寄り添ったものでした。こんな人たちだからこそ、この長い三宅の避難生活を支え続けてくださったんだと実感し、またまた、元気をもらいました。そして、これからの三宅の復興に向けた希望が灯りました。

(三宅島災害・東京ボランティア支援センター事務局
 坂上 由香)

ふれあい集会でお会いしましょう

紅葉が見ごろを迎えています。皆さま、お元気でお過ごしのことと思います。

新潟中越地震で今でも余震や天然ダムなどによる被害が続く、過酷な避難生活が続いています。被災された方々の一日も早い回復と復興を祈らずにいられません。

私たち三宅島島民も多勢の方々から物心両面から支援していただき、ほんとうに勇気付けられました。日本中の人々の思いが感じられ、「絆の大切さ」を感じます。そして、「感謝の気持ちの大切さ」を決して忘れてはならないと思います。

来春、多くの方々のおかげをいただきまして、三宅島の帰島できることになりました。帰島後、思わぬ問題点がいろいろ出てくるかもしれませんが、今以上にみんなで仲良く協力し合って、思いやりの深い、あたたかい心にあふれる三宅島に復興させることが肝要であると思います。それが、支援して下さった日本じゅうの方々への恩返しになることと思います。三宅島の生活の楽しさ、豊かさが思い起こされます。

いい島に、きっとします。

では皆さま、ふれあい集会で、笑顔でお会いしましょう。

(あきる野市 坪田 穴原 美奈)

三宅島島民ふれあい集会実行委員会事務局より**当日の島民ボランティア大募集！**

東京でのふれあい集會も、もしかすると最後？になるかもしれないということで、島民実行委員会では、「今回は、島民がお客さんになるだけでなく、できれば支援のボランティアさんたちといっしょにからだを動かしながら、交流したい」との意見が出されていました。

そこで、事前の準備や当日のお手伝いをしてくださる『島民ボランティア』さんを大募集します。「少しの時間、ちょっとだったら手伝えるよ」という方は、お気軽に事務局までお問合せください。（実行委員会事務局 TEL：03-3260-7573）

ふれあい集會会場で山古志村への寄せ書きを作しましょう！

先日、平野村長も見舞った、全村避難となった新潟県旧山古志村の方々への、応援メッセージとして、会場で寄せ書きを作ろうと思っています。小さなカードにそれぞれの想いをお書きいただき、会場でスタッフにお渡しください。後日、お預かりしたメッセージを布に印刷して、山古志村にお贈りしようと考えています。本部テント隣にコーナーを設けていますので、お気軽にお立ち寄りくださいませ。

三宅島社協より**架空請求にご注意を！**

先日、ある三宅島島民のもとに架空請求と思われる「督促状」と書かれたハガキが届きました。現在、この様な詐欺事件が全国で多発しています。ご注意下さい。ここでは、不当な請求などの被害にあわないためのポイントをいくつかご紹介します。

架空請求の対策は無視するのが一番です！**絶対に連絡は取らないで！**

身に覚えのない請求に関しては、絶対に連絡を取らないで下さい。たとえ相手から連絡が来ても、自分の名前や住所、電話番号は絶対に教えないことが大切です。

証拠は保管しましょう

不当な請求のハガキやメールなどの証拠は保管しておきましょう。

家族や周りの人にも知らせましょう

家族が代わりに連絡したり、支払ってしまわない様に、知らせておくが良いでしょう。

不安なときは相談を！

架空請求は皆さんの不安感をあおって請求してきます。心配な時は最寄りの消費生活センターや警察署に相談しましょう。

ご相談先

東京都消費生活センター：03-3235-1155（相談専用）

警視庁生活安全相談センター：03-3581-4321（代表）